

2022 年度「持続可能な都市圏計画論（都市空間政策特論第 9）」シラバス

火曜 6・7 限連続（18 時 40 分ー21 時 35 分）

□講義の目的

グローバル化、人口減少、環境共生など都市・地域が直面する現代的課題に対応するための新たな広域計画が求められている。本講義では、まず持続可能な都市圏計画に向けた論点を把握した上で、国内外の先進的な広域計画・都市計画制度や広域連携の事例について学ぶ。また広域にかかる最新のトピックについて学ぶ。

□講義日程・項目

※ 7 月 5 日はフルオンライン、7 月 12 日以降はハイブリッドで開催（講師は来学）する予定としています。ただし今後、変更することもありますので、ご注意ください。

7 月 5 日	瀬田史彦（東京大学）	総論・日本
7 月 12 日	姥浦道生（東北大学） 瀬田史彦（東京大学）	ドイツ 国内外の広域計画の潮流
7 月 19 日	西浦定継（明星大学） 志摩憲寿（東洋大学）	アメリカ アジア諸国
7 月 26 日	岡井有佳（立命館大学） 片山健介（長崎大学）	フランス イギリス

□理解すべき事項

日本および諸外国の都市圏における広域的な論点、広域計画・広域連携の制度・手法・取り組みの事例について意義・課題を理解する。

同時に、近年話題となっている広域連携の取組について理解を深める。

□成績評価

出席および期末レポートで評価する。

□その他

参考書：大西隆編著『広域計画と地域の持続可能性』学芸出版社，2010 年 3 月

以上